



**変化をチャンスに、貧困・格差の
 解消、内需の拡大を！** 10国民春闘スローガン

地域活性化、景気回復 すみだ チンドン屋パレード

地域総行動

「変化をチャンスに！」 東京春闘 大塚駅前で宣伝行動実施！

「経済危機」を口実にすすむ雇用破壊と賃金の切り下げ。労働総研が明らかにしているように、大企業は毎年莫大な内部留保を積み上げています。

その一方で多くの労働者が低賃金で安定な雇用へと追いやられました。中小・下請け企業への単価切り下げも容赦なく行われています。雇用不安に伴い格差と貧困が広がり、内需を冷え込ませています。

東京地評・東京春闘は2月18日と25日に大塚駅前と上野駅前「こうすりゃよくなる！庶民のくらし」ビラを配布し、春闘で大企業が労働者と中小企業から巻き上げた内部留保という名の「埋蔵金」を労働者と中小経営、雇用に還元し景気回復の春風を起こそうと呼びかけました。



荒馬座のみなさんによる大塚駅前のトラ舞と踊り

墨田労連は、2月28日（日）の午前11時からチンドン屋さんを先頭に春闘パレードを行いました。当日はあいにくのみぞれ混じりの雨でしたが、180人を超える参加者は元気よく飛び出して行きました。パレードに先立ち、田中議長は、失業者と生活保護者の増大の一日も早い解決のために賃上げで内需を拡大しようと訴えました。連帯挨拶で東京春闘の伊藤代表委員は、地域経済活性化のためにも本日の行動を含めた草の根の運動が重要と語られました。

チンドン屋さんのかなでる軽やかな音楽は、参加者を励まし、沿道の親子連れや商店の方々の注目を受けました。配布した「こうすりゃよくなる」テッシュも快く受けとてもらいました。チンドン屋さんの音を盛り上げるアナウンスで地域の人たちに「内需拡大で景気回復、賃金を上げよう、労働者派遣法の抜本改正を」呼びかけました。



出発に先立ち、参加者に披露するチンドン屋さんの「江戸屋」

パレードを準備した幹事の方々は、雨に降られたが参加者も多く地域の人たちも見てくれてやってよかったと喜んでいました。



「荒馬座」の太鼓とトラ舞に、注目が寄せられ 用意した1000個のティッシュも30分で無くなる

ティッシュに折り込んだ赤字に白抜きの「こうすりゃよくなる」反応は上々。

2月23日に全国一般東京と東京国公が行った官民共同の宣伝行動では築地、銀座、霞ヶ関で7000枚を配布。多くの人が、興味深く目を通していました。

**最低賃金、時給1000円
 の実現署名**
 働く貧困層をなくすために、最低賃金引き上げは重要な課題です。署名運動を取り組んでいる最中と思いますが、今国会で提出を予定しています。集まり次第東京春闘に送ってください。

**街頭パフォーマンス行動
 出演料補助**
 当事者もまわりも元気を出そうと街頭パフォーマンス行動で、出演料がかかった場合、東京春闘共闘は、上限3万円まで補助金を出します。申請書を作りましたので提出して下さい。

この「東京春闘FAXニュース」は、東京地評のホームページからも取れます。また、大塚駅の写真も載せています。